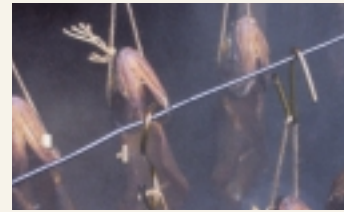


制作体験学習

物作りに没頭する。

高原や川の恵みを利用した先人の知恵を知り、自然の香り、色、味を実感しよう。



ニジマスの薫製作り

ニジマスをさばいて腹を出し、塩漬けた後、桜のチップで薫製にします。桜のチップの香りと塩味の鱈は「ウーン!おいしい!」と思わず言いたくなる一品。



木彫り

乗鞍の山桜の木を使ってふくろうを作ります。彫刻刀で彫って作ります。一つ一つ表情の違うのも楽しい。



草木染め

乗鞍にある木の皮や枝、草、実などから自然の色を染めます。紐や輪ゴムなどで模様を作ってひとつつしかない作品に仕上げましょう。色も時期によって微妙に色合いが違います。(写真はピンクが白樺、黄色がヨモギです。)



自然観察学習

山の声を聴く。

刻々と移りゆく山の自然の中で、大地の鼓動を、生きものの息吹きを、そして自分も自然の一員であることを感じよう。



▲滝めぐり(三本滝)

乗鞍を代表する滝を巡る、滝で遊ぶなど乗鞍ならではの遊び体験。善五郎の滝、番所大滝も雄大な魅力があります。

●乗鞍岳登山

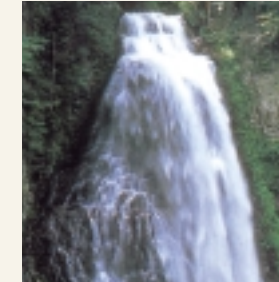
乗鞍岳(3,026m)を目指します。登山ルートは時間、体力などに合わせて設定できます。(位ヶ原、大雪渓、豊平のスタートが可能です。)頂上から望む360度の展望は最高!

安全登山 登山はルート・日程・経験の有無はもちろん、参加者の健康状態も確実に把握して安全を最優先に考慮して計画いたします。



善五郎の滝

その昔、村人善五郎が大岩魚を釣り上げた際に淵に引き込まれそうになったと伝えられる滝です。



番所大滝

乗鞍高原では最大規模を誇る、落差40m、幅15mの滝。遊歩道も整備され、雄大な自然の創造物を間近に眺められます。



一の瀬牧場

夏には乳牛が放牧され、どこかヨーロッパを連想させる牧歌的なムードが漂います。

フィールドは どこでも 実験室 ③

標高の低い高いはどこが違うの? 「標高を科学する」

低地から持ってきたスナック菓子の袋が、山の上ではパンパンに膨らむのはなぜだろう? 山の上の気温が低いのはなぜだろう? 気圧が下がるとどんな現象が起こるのかな? 標高をテーマにどどん広がる疑問に答えることは科学に興味を抱く第一歩です。

キャンプ体験学習

自然の中で語る、食す。

炎のもとに集い、「同じ釜の飯」を食す。普段とは違う仲間との一体感を共有しよう。



キャンプファイヤー

点火から2時間は燃え続けるファイヤーです。ファイヤー点火の方法はいくつもありますが、周りには明かりがほとんどなく、火の明るさは感動です。



飯ごう炊さん

手作りの移動式釜です。現在48釜あります。マキもご用意いたします。火の焚き方、飯ごうの焚き加減など、宿のおじさん、おばさんがアドバイスします。



1988年以前、10頭程しか確認されていなかった「クビワコウモリ」の出産産集団(繁殖コロニー)が1989年に長野県安曇村で発見されました。生態についてはあまり知られていないため、乗鞍高原は学術的にも非常に重要な場所といえます。



フィールドは どこでも 実験室 ④

ちょっと動くだけで息が切れるよ 「高地トレーニング」

一流アスリートが1500メートルを超える高地でトレーニングするのは、都会よりも空気がきれいだからなの? 山の上でちょっと動いただけで息が荒くなるのと高地トレーニングにはなにか関係があるのかな? 目には見えない空気を科学する場所としても標高の高い上高地や乗鞍はぴったりです。

NORIKURA HIGHLAND 乗鞍高原

冬の乗鞍高原でパウダースノーを満喫! スキーやクロスカントリーなど、各自のレベルに合わせたプランが可能です。インストラクターの指導のもと雪に親しむことができます。

